



WX310K

取扱説明書



はじめに (安全上のご注意)

目次

ご使用になる前に

基本の操作が簡単にわかる!
簡単操作ガイド

基本的な使いかた

文字の入力と設定

アドレス帳の使いかた

メールの使いかた

インターネットの使いかた

カメラの使いかた

データフォルダの使いかた

音/バイブレーションの設定

画面/照明の設定

スケジュールの使いかた

セキュリティ機能の設定

その他の便利な機能

データ通信の使いかた

ウィルコムの各種サービス

ソフトウェアの更新

アプリケーションの追加

付録

●はじめに

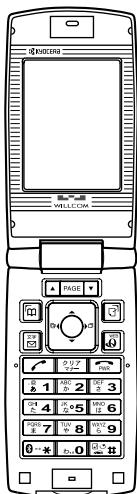
このたびは、「WX310K」をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用前に、このWX310K取扱説明書を必ずお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

●ご注意

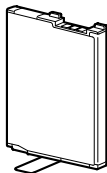
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期してはおりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

●次のものがそろっているか確認してください

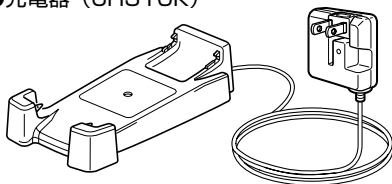
●本体 (WX310K)



●リチウムイオンバッテリー (LD310K)

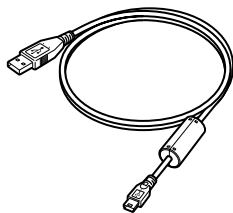


●充電器 (CH310K)

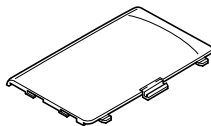


●USBケーブル

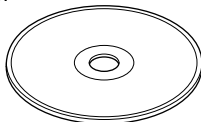
USB (A) オス - USB (Mini-B) オス



●バッテリーカバー



●CD-ROM



●取扱説明書 (保証書)

リチウムイオンバッテリーとバッテリーカバーの取り付けかたについては、「バッテリーの交換」(216ページ)をご参照ください。






* 本書では特定の場合を除き、「miniSD™メモリーカード (市販品)」を「miniSDカード」と略しています。

● 安全上のご注意

安全にお使いいただくために必ずお読みください

- この「安全上のご注意」には、WX310Kを使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載してあります。
- 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■ 表示の説明

 危険	この表示は「人が死亡または重傷 ¹⁾ を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
 警告	この表示は「人が死亡または重傷 ¹⁾ を負う可能性が想定される内容」を示しています。
 注意	この表示は「人が傷害 ²⁾ を負う可能性が想定される内容や物的損害 ³⁾ の発生が想定される内容」を示しています。

*1 「重傷」とは、失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

*2 「傷害」とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

*3 「物的損害」とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■ 図記号の説明

行為を禁止する記号			
 禁止	 分解禁止	 水ぬれ禁止	 ぬれ手禁止
行為を指示する記号			
 指示	 電源プラグを抜く		


■ 免責事項について

- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害（事業利益の損失・事業の中断、記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与していない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 大切なデータは、コンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをお勧めします。万一、登録された情報内容が変化、消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。


WX310K本体/バッテリー/充電器共通


WX310K本体・バッテリー・充電器のそれぞれにも注意事項の記載があります。必ずお読みになり記載事項をお守りください。


⚠ 危険


 必ず専用の周辺機器をご使用ください。専用の周辺機器以外を使用すると破裂・発火・火災・漏液の原因となります。


指示
WX310K周辺機器
・バッテリー<LD310K>
・充電器<CH310K>


 高温になる場所（火のそば、ストーブのそば、炎天下など）での使用や放置、保管をしないでください。破裂・発火・火災・発熱の原因となります。


 引火性ガスや油煙が発生する場所では使用しないでください。ガスに引火し、破裂・発火・火災の原因となります。ガソリンスタンドでの給油中など、引火性ガスが発生する場所では電源を切り、充電もしないでください。


 火の中に投入したり、加熱しないでください。破裂・発火・火災・発熱の原因となります。

 加熱用機器（電子レンジなど）や高压容器に入れてください。破裂・発火・火災・発熱の原因となります。


 分解・改造・修理はしないでください。破裂・発火・火災・発熱・感電・けがの原因となります。PHSの改造は電波法違反になります。故障などによる修理は、ウィルコムサービスセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡ください。


 導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）を、接続端子に接触させたり内部に入れたりして接続端子をショートさせないでください。破裂・発火・火災・発熱・感電の原因となります。


 高所から落下させる、投げつける、踏みつけるなど強い衝撃を与えないでください。破裂・発火・火災・発熱の原因となります。


 使用中に煙が出る、においがする、異常な音がするなど異常が起きたら直ちに使用を中止してください。異常が起きた場合は電源を切り、バッテリーをはずしてウィルコムサービスセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡ください。そのまま使用すると破裂・発火・火災・発熱の原因となります。


警告

 通電状態で接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・けがの原因となります。


 水などの液体をかけないでください。また、水などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、濡れた手での使用はしないでください。感電や電子回路のショートの原因となります。


 指示 水に濡れたり、落下したり、破損したりした場合などはそのまま使用せず、ウィルコムサービスセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡ください。

 禁止 乳幼児の手の届く場所には置かないでください。けがなどの原因となります。

 禁止 直射日光のあたる場所（自動車内など）、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発火・火災の原因となります。

注意


 禁止 ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがの原因となります。また、WX310Kがパイブレータ設定になっている場合、振動により落下する可能性があるため特にご注意ください。


 禁止 外部から電源が供給されている状態のWX310K・バッテリー・充電器に長時間、触れないでください。低温やけどの原因となります。


WX310K本体について


共通の注意事項（WX310K本体・バッテリー・充電器）についても記載がありますので、必ずお読みになり記載事項をお守りください。


危険

 禁止 自動車・バイク・自転車などの運転中は使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・バイク運転中のPHSの使用は危険なため法律で禁止されています。

 禁止 自動車などの運転者に向けて撮影ライトを点灯しないでください。目がかんだり、驚いたりして、交通事故の原因となります。

 禁止 自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

 指示 航空機に搭乗される場合は、運航の安全に支障をきたすおそれがありますので、電源をお切りください。航空機内のPHSの使用は法律で禁止されています。

 禁止 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器の近くでPHSを使用される場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがあるため、次のことを守ってください。

1. 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、PHSを心臓ペースメーカーなど装着部から22cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカー、植込み型除細動器を装着している方がいる

可能性がありますので、PHSの電源を切るようにしてください。

- 医療機関の屋内では以下のことに注意してご使用ください。
 - 手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはPHSを持ち込まない。
 - 病棟内では、PHSの電源を切る。
 - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、PHSの電源を切る。
 - 医療機関が個々に使用禁止・持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。
- 医療機関の外で植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（平成9年3月「不要電波問題対策協議会」〔現電波環境協議会〕）に準拠し、また「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

PHSについては平成12～13年度に調査が行なわれ、平成17年に上記指針、報告書の内容が妥当であることが総務省より公表されています。



指示

高精度な電子機器の近くでは電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。（影響を与えるおそれがある機器の例：心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電子機器・火災報知器・自動ドアなど。医用電子機器をお使いの場合は、機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。）



指示

通話・メールなどするときには周囲の安全を確認してください。安全を確認せずに使用すると、転倒・交通事故の原因となります。



指示

屋外で雷鳴が聞こえた場合は、直ちにWX310Kの使用を中止してください。落雷・感電の原因となります。WX310Kの電源を切って、安全な場所へ移動してください。

警告



水ぬれ禁止

雨天・降雪中・海岸・水辺などで使用する場合は水ぬれや湿気、身に付けている場合は汗による湿気にご注意ください。感電や電子回路のショートの原因となります。



ぬれ手禁止

撮影ライトを人の目の前で発光させたり、撮影ライト点灯時に発光部を直視したりしないでください。視力障害を起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。



禁止

WX310Kが落下により破損し、電話機内部が露出した場合、露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部だけがすることがあります。ウィルコムサービスセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡ください。



指示

心臓の弱い方はバイブレータ（振動）や音量の大きさの設定にご注意ください。心臓に影響を与える可能性があります。



禁止

暗い部屋で、画面の強い光や光の点滅を見つめないでください。強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ていると、ごくまれに、筋肉のまひや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある方は、事前に必ず医師と相談してください。



禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。レンズの集光作用により、発火・火災の原因となります。



指示

通常は平型イヤホンマイク端子カバー・USB端子カバー・バッテリーカバーなどをはめた状態で使用してください。カバーをはめずに使用していると、ほこり・水などが入り感電や電子回路のショートの原因となります。

注意




禁止


ハンドストラップなどを持って振り回さないでください。けがの原因となります。





指示


WX310Kを閉じるときは、手などをはさまないように閉じてください。けがの原因となります。


 WX310Kを開くときはヒンジ部（つなぎ目）に指をはさまないようにご注意ください。けがの原因となります。

 キャッシュカードやフロッピーディスク等の磁気を帯びた記録媒体や電子機器、金属製品を近づけたり、はさんだりしないでください。磁気データの消失の原因となります。

 miniSDカード（市販品）挿入状態から、無理に引き抜かないでください。故障・内部データ消失の原因となります。

 miniSDカード（市販品）は、指定品以外を使用しないでください。故障・内部データ消失の原因となります。指定品については、京セラのホームページをご覧ください。

 miniSDカード（市販品）の取り付け、取りはずしの際、急に指を離したりせず、指定の方向に最後まで押し込んでください。また、顔などを近づけないでください。カードが勢いよく飛び出し、けが・カード破損の原因となります。


 皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

(使用箇所)

- ・（使用材料）
- ・（表面処理）

外装ケース	・ PC/ABS樹脂、PC樹脂 ・ アクリル系UV硬化塗装処理
カメラレンズ部	・ アクリル樹脂 ・ 化学硬化処理
ウィンドウパネル部（メイン）	・ アクリル樹脂 ・ 化学硬化処理
ウィンドウパネル部（サブ）	・ アクリル樹脂 ・ インモールド箔
フロントジョグ	・ PC樹脂 ・ アクリル系UV硬化塗装処理
アドレス帳キー、マイオリジナルキー、メールキー、Operaキー	・ PC樹脂 ・ -

発信・通話キー、電源・終了キー、クリア/マナーキー	・ PC樹脂 ・ -
ダイヤルキー	・ PC樹脂 ・ -
サイドキー（Lockキー、シャッター/メモキー）	・ PC樹脂 ・ -
ネジキャップ（メインディスプレイ上部）	・ アクリル樹脂 ・ -
ネジキャップ（メインディスプレイ下部、背面）	・ PET樹脂 ・ -
USB端子カバー	・ エラストマ樹脂 ・ アクリル系UV硬化塗装処理
平型イヤホンマイク端子カバー	・ PC/ABS樹脂、エラストマ樹脂 ・ アクリル系UV硬化塗装処理
充電端子	・ りん青銅 ・ 金メッキ（下地：ニッケルパラジウム）
miniSDカードスロットカバー	・ PC樹脂 ・ エラストマ樹脂
撮影ライント	・ アクリル樹脂 ・ -
モールドクッション	・ アクリルウレタン樹脂 ・ -
マクロ撮影切替スイッチ	・ POM ・ -
アルミ装飾パネル	・ アルミニウム ・ アルマイト処理
カメラウィンドウパネル	・ ABS樹脂 ・ クロムメッキ
アンテナ先端	・ PC/ABS樹脂 ・ -
アンテナチューブ	・ PBTおよびナイロン ・ -
アンテナストッパー	・ 黄銅 ・ クロムメッキ

 耳を刺激するような大音量で長時間続けて聞かないでください。聴力に悪い影響を与えることがあります。

バッテリーについて

共通の注意事項（WX310K本体・バッテリー・充電器）についても記載がありますので、必ずお読みになり記載事項をお守りください。

⚠ 危険



バッテリーの（+）と（-）をショートさせないでください。破裂・発火・発熱の原因となります。



持ち運ぶ際や保管するときは、金属片（ネックレスやヘアピンなど）などと接続端子が触れないようにしてください。バッテリーがショートし、過大な電流が流れ、破裂・発火・発熱の原因となります。



バッテリーをWX310Kに装着するときは、（+）（-）を逆にしないでください。破裂・発火・発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理せず接続部を十分に確認してください。



釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。破裂・発火・発熱の原因となります。



直接ハンダ付けをしたり、分解・改造をしたりしないでください。バッテリー内部の液が飛び出し目に入ったりして失明などの事故や、破裂・発火・発熱の原因となります。



漏液したり、異臭がするときは直ちに使用を中止してください。また万一近くに火気がある場合は、火気から遠ざけてください。漏液した液体に引火し、破裂・発火の原因となります。

⚠ 警告



内部の液が目に入った場合は、こすらずにきれいな水で十分洗ったあと直ちに医師の治療を受けてください。放置すると失明するおそれがあります。

⚠ 注意



内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちにきれいな水で十分に洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となります。



不要なバッテリーは、一般のゴミといっしょに捨てないでください。不要になったバッテリーは端子にテープなどを貼り絶縁してから、ウィルコムサービスセンターなどにお持ちください。バッテリーを分別回収している市町村の場合は、その条例に従って処理してください。

充電器について

⚠ 危険



所定の時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止めてください。バッテリーの液もれ・破裂・発火・火災・発熱の原因となります。ウィルコムサービスセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡ください。



雷が鳴り出したら充電器に触れないでください。落雷による感電などの原因となります。

⚠ 警告



指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。



充電器をコンセントに差し込む場合、電源プラグに金属製のストラップやアクセサリなどを接触させないでください。発火・火災・感電・けがの原因となります。



充電時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。発火・火災・感電の原因となります。



電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、発火・火災・発熱・感電の原因となります。



水やベットの尿など液体がかからない場所で使用してください。発熱・発火・火災・感電・ショートの原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。



充電中は布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。発火・火災の原因となります。



コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発火・火災・発熱の原因となります。



電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたまま使用しないでください。また、傷んだ電源コードは使用しないでください。発火・火災・感電・ショートの原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れをするときには、電源プラグをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れをすると感電やショートの原因となります。



指示

電源プラグに付いたほこりはふき取ってください。そのまま放置すると発火・火災の原因となります。



指示

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードが損傷し、発火・火災・感電の原因となります。

● 取扱上のお願

WX310K本体／バッテリー／充電器共通

- 無理な力がかかると、ディスプレイや内部の基板などが破損し故障の原因となりますので、スポンやスカートのポケットに入れてそのまま座ったり、カバンの中で重いものの下になつたりしないよう、ご注意ください。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温、低温、多湿は避けください。(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 電源／充電端子、USB端子部をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となります場合があります。また、このとき電源端子を変形させないでください。
- 汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン／シンナー／アルコール／洗剤などを用いると外装や文字が変質するおそれがありますので、使用しないでください。
- 一般電話／テレビ／ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 通話中、インターネットの接続中、メールなどの利用中や充電中など、温かくなる場合がありますが異常ではありません。
- バッテリーは、電源を切ってから取りはずしてください。
- 充電器を海外でご使用になる場合は、変圧器が必要です。

WX310K本体について

- WX310Kで使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)または、常時点灯するドットが存在する場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。本体を開くときやご使用中は、ヒンジ部(つなぎ目)に無理な力が加わらないようにしてください。振り回したりそらしたりして本体に無理な力が加わると故障や破損の原因となりますので取扱には十分ご注意ください。
- 強く押す、たたくなど、故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。キズの発生や、破損の原因となることがあります。
- ディスプレイを硬いものでこすったりして傷付けないようご注意ください。
- ポケットおよびバッグなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材にあたらないようにしてください。また、金属などの硬い部材のストラップは、ディスプレイのキズの発生や破損の原因となることがありますのでご注意ください。
- 受話音声をお聞きになるときは、受話部が耳の中央にあたるようにしてお使いください。受話部(音声穴)が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。
- 寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合や、湿度の高い場所で使用された場合、WX310K内部に水滴が付くことがあります(結露といえます)。このような条件下での使用は故障の原因となりますのでご注意ください。
- エアコンの吹き出し口などの近くに置かないでください。急激な温度変化により結露すると、内部が腐食し故障の原因となります。
- メインディスプレイやキーのある面にシールなどを貼らないでください。本体を閉じたときキーなどが押されるなどして誤動作したり、クローズ時のキー操作ができなくなる場合があります。また、WX310K本体が損傷するおそれがあります。
- データを再生中に無理なキー操作を行うと、データが停止するなど通常と異なる動作をする場合があります。

バッテリーについて

- WX310Kのバッテリーは、リチウムイオンバッテリーです。
- 夏期、閉めきった車内に放置するなど極端な高温や低温環境では、バッテリーの容量が低下し利用できる時間が短くなります。また、バッテリーの寿命も短くなります。できるだけ常温でお使いください。
- 長期間使用しない場合には、本体からはずし、ケース等に入れて高温多湿を避けて保管してください。
- はじめてご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。(充電中、バッテリーが温かくなるありますが異常ではありません。)
- バッテリーには寿命があります。充電しても機能が回復しない場合は寿命ですので、指定の新しいバッテリーをご購入ください。なお、寿命は使用状態によって異なります。



Li-ion


環境保護のため、寿命がきたバッテリーは普通のゴミと一緒に捨てずにウィルコムサービスセンター窓口、またはリサイクル協力店などにお持ちください。充電式バッテリーの収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：
社団法人電池工業会
TEL：03-3434-0261
ホームページ：
<http://www.baj.or.jp>

miniSDカード（市販品）について

- 正しく取り付けてください。正しく取り付けられていないとminiSDカードを利用することができません。
- 端子面に触れたり、水に濡らしたり、汚したりしないでください。
- 曲げたり、折ったりしないでください。
- 長時間お使いになった後、取りはずしたminiSDカードが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。
- 静電気や電氣的ノイズの発生しやすい場所での使用や保管は避けてください。
- 乳幼児の手の届く場所には置かないでください。誤って飲み込むと窒息、けがの原因となります。
- 腐食性の薬品の近くや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障、内部データの消失の原因となります。
- 使用しなくなったminiSDカードを破棄する場合、保存内容が流出するおそれがありますので、保存内容を消去するだけでなく、物理的にminiSDカードを破壊した上で処分することをおすすめします。

- miniSDカードに保存したデータは、パソコンや他のメディア（FD・MO・CD-R/Wなど）にバックアップしてください。miniSDカードの破損などにより、保存したデータが消失したことによる損害について、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

充電器について

- ご使用にならないときは、充電器の電源プラグをコンセントからはずしてください。
- 充電中に本体画面の（バッテリーマーク）の点滅が充電完了（24ページ）でないときに停止する場合は、周囲の温度が高いかもしくは低い場合、保護機能がはたらき、充電できない場合があります。周囲温度が5℃～35℃の場所にしばらく置いてください。充電を開始します。
- WX310Kの充電端子、充電器の接続端子は、ときどき乾いた綿棒で清掃してください。汚れていると接触不良の原因となります。

カメラ機能について

- カメラのレンズに直射日光が当たる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。
- ご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
- 大切な撮影（結婚式など）をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されているか、聞き取りやすく音声録音されているかご確認ください。
- 故障、修理、その他の取り扱いにより、撮影した画像データ（以下「データ」といいます。）が変化または消失することがあります。この場合当社は、変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失により生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
- カメラ機能を使用して、撮影が許可されていない場所や書店などで情報の記録を行うことはやめてください。

著作権／肖像権について

- お客様がWX310Kで撮影／録音したものを複製、改変、編集などをする行為は、個人で楽しむ目的のみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者に無断でこれらの行為を行うと、「著作権侵害」「著作者人権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。

- 撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影／録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 著作権にかかわる画像やサウンドの転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、利用できませんのでご注意ください。

暗証番号について

お買い上げ時：
「1234」

● ご注意

- 暗証番号を必ずご確認ください。お買い上げ時には「1234」が設定されていますが、お客様が必要に応じて暗証番号を変更することができます。
- 暗証番号は秘密保持および、誤操作防止のために使用される大切な番号です。番号をお忘れにならないようご注意ください。万一お忘れになった場合は、WX310Kとウィルコム申込書の控え、または契約内容確認書類と身分証明書（顔写真のあったもの）をご持参のうえ、ウィルコムサービスセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡いただくこととなりますのでご注意ください。（預り修理・有償）

暗証番号	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

- 暗証番号は、セキュリティ（ダイヤルロック／着信拒否／操作ロック／シークレットモード／暗証番号変更／本体リセット）、全件削除等の機能をご利用いただく際に必要となります。

● 携帯電話／PHS端末のリサイクルについて



モバイル・リサイクルネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルに協力。

携帯電話／PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機、バッテリー、充電器をブランド／メーカーを問わず左記マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

● ご注意

- 回収した電話機、バッテリー、充電器はリサイクルするためご返却できません。
- プライバシー保護のため、電話機に記憶されているお客様の情報（アドレス帳、通信履歴、メールなど）は事前に消去してください。

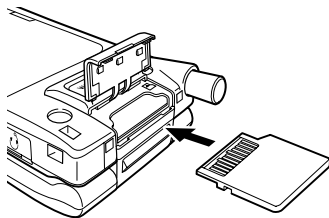
● miniSDカード (市販品) を使う

- miniSDカードは、WX310Kの外部メモリとして使用できます。撮影したフォトやメール本文、アドレス帳、スケジュールなどのバックアップや、データ移動が可能になります。
- WX310Kには、miniSDカードおよびminiSDアダプタは同梱されていません。市販品のminiSDカードおよびminiSDアダプタをご購入いただき、ご利用ください。
- 本書で記載しているminiSDカードの最大保存件数や最大保存容量は、使用するminiSDカードや使用状況により異なります。
- miniSDアダプタに装着すると、SDカードに対応したパソコンやプリンタなどにも利用できます。
- 当社基準において動作確認したminiSDカードは京セラのホームページをご覧ください。

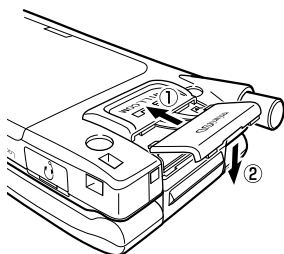
miniSDカードの取り付け／取りはずし

■ miniSDカードを取り付ける場合

- 1 miniSDカードスロットカバーを開く
- 2 miniSDカードスロット部の刻印の向きに合わせ、ロックするまで差し込む
メインディスプレイのピクト表示エリアに「SD」が表示されていることを確認します。



3 miniSDカードスロットカバーを矢印の方向に押し込んでから閉じる



■ miniSDカードを取り出す場合

1 miniSDカードスロットカバーを開き、miniSDカードを軽く押す

2 miniSDカードが手前に少し出てきたら、引き抜く

※ 「miniSDカード (市販品) について」 (8ページ) もご参照ください。

■ リセットボタンについて

リセットボタンはバッテリーカバーを横にずらしたとき左下にある白いボタンです。

リセットはWX310Kが正常に電源を切ることができなくなったときなど、特別な場合のみ行ってください。

通常動作時に誤ってリセットボタンを押下すると、データの一部が破損したり消去されることがありますので、ご注意ください。

● 平型ステレオイヤホン (市販品) を使う



① WX310Kの平型イヤホンマイク端子カバーを開きます。

② 図のようにイヤホンのコネクタを平型イヤホンマイク端子部にしっかりと差し込みます。

● **ご注意**

- 平型ステレオイヤホン平型イヤホンマイク端子部から引き抜くときは、コードを引っ張らないでください。
- ご使用後は平型イヤホンマイク端子カバーをしっかりと閉じてください。水分やほこりが侵入すると故障の原因となります。

目次

はじめに	
次のものがそろっているか確認してください	
本書の読みかた	1
安全の上ご注意	2
安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
表示の説明	2
図記号の説明	2
免責事項について	2
WX310K本体/バッテリー/充電器共通	2
WX310K本体について	3
バッテリーについて	6
充電器について	6
取扱上のお願ひ	7
WX310K本体/バッテリー/充電器共通	7
WX310K本体について	7
バッテリーについて	8
miniSDカード(市販品)について	8
充電器について	8
カメラ機能について	8
著作権/肖像権について	8
暗証番号について	9
携帯電話/PHS端末のリサイクルについて	9
miniSDカード(市販品)を使う	9
miniSDカードの取り付け/取りはずし	9
平型ステレオイヤホン(市販品)を使う	10
●ご使用になる前に	16
各部の名称と機能	16
メインディスプレイの見かた	18
サブディスプレイの見かた	20
キー操作の基本	21
カーソルを動かして選択/確定する (カーソルキー/センターキー)	21
数字キーを使って項目を選択する (ダイヤルキー)	21
一つ前の画面に戻る/操作を中止する (クリアキー/電源・終話キー)	22
ページをめくる (ページアップキー/ページダウンキー)	22
ソフトキーの操作について	22
ご使用前の準備	23
バッテリーの充電について	23
充電する	24
USBケーブルで充電する(USB充電) (機能番号71)	25
アンテナの取り扱いについて	25
電源をON/OFFにする	26
時計を設定する(日時設定) (機能番号51)	26
●簡単操作ガイド	28
オンラインサインアップをする (ウィルコムのエメール)	28
一般プロバイダーのエメールを設定する	29
アカウントを設定する	29
受信メールアカウントの切り替え	31
ダイヤルアップを設定する	32
インターネット接続アカウントを設定する	32
インターネットを使うための接続先を設定する	34

WX310Kでできること	35
電話をかける/受ける	35
メールを送る/受ける	35
インターネットを使う	36
カメラで静止画を撮影する	36
Bluetooth™を使う(ワイヤレス接続)	37
miniSDカードを使う	38
パソコンとデータのやり取りをする (マストレージ)	38
WX310Kのソフトウェアを最新版に アップデートする	39
スケジュールを使う	39

●基本的な使いかた 40

電話をかける	40
電話番号を入力してかける	40
発信履歴/着信履歴から電話をかける	41
発信履歴画面/着信履歴画面のメニューを使う	42
スピードダイヤルを使う	42
スピードダイヤルで電話をかける	42
スピードダイヤルでWebページにアクセスする	43
自分の電話番号を相手に通知する (発信者番号通知)(機能番号15)	43
国際電話をかける	44
電話を受ける	45
通話中に保留する(ミュート)	45
通話中にブッシュ信号を送る	46
マイオリジナルを使う	46
音声メモ/伝言メモを使う	47
通話中に相手の声を録音する(音声メモ)	47
電話に出られないときに応答して相手の声を 録音する(伝言メモ)	47
伝言メモを設定/解除する(伝言メモ設定) (機能番号61)	48
伝言メモの応答メッセージを録音する (応答メッセージ録音)(機能番号62)	48
応答メッセージを設定する (応答メッセージ選択)(機能番号63)	48
応答時間を設定する(伝言メモ応答時間) (機能番号64)	49
音声メモや伝言メモを再生/削除する	49
マナーモードを設定/解除する (マナーモード)	49
モードを選択して設定する	50
オリジナルマナーを登録する (オリジナルマナー編集)	51
安全運転モードを設定/解除する (安全運転モード)	52
小さな声で話せるように設定/解除する (マナートーク)	52
着信中に着信音をバイブレータに切り替える (マナー着信)	53
通話中に受話音量を調節する	53
サイドキーの操作を無効にする (サイドキー操作無効)	53
●文字の入力と設定	54
文字を入力する	54
文字入力モードの切り替え	54
各キーに割り当てられた文字について	54

ダイヤルキーで入力する.....	55
漢字に変換する.....	55
文字入力メニューを使う.....	56
記号/定型文/絵文字/顔文字を入力する.....	56
文字をコピー/カット/貼り付けする.....	57
定型文/顔文字を編集する	
(定型文/顔文字登録)(機能番号84).....	57
よく使う単語を登録/編集/削除する	
(ユーザ辞書)(機能番号81).....	58
予測変換を設定する(予測変換設定)	
(機能番号82).....	59
学習情報を削除する(学習内容リセット)	
(機能番号83).....	59
辞書データを登録/解除する	
(オプション辞書登録)(機能番号85).....	59

●アドレス帳の使いかた 60

アドレス帳に登録する.....	60
アドレス帳の各項目に登録する.....	60
音声着信/メール受信時の音とLED色を	
設定する.....	62
他の機能からアドレス帳に登録する.....	63
アドレス帳を呼び出す.....	64
表示方法について.....	64
1画面表示/1行表示画面のメニューを使う.....	64
アドレス帳詳細画面のメニューを使う.....	65
アドレス帳を検索する.....	66
アドレス帳から発信する.....	66
アドレス帳の各種設定をする.....	67
グループを設定する.....	67
アドレスカード(vCard形式)について.....	68
アドレス帳のデータ(vCard)を	
データフォルダへコピーする.....	68
Eメールにアドレス帳のデータ(vCard)を	
添付する.....	68
データフォルダのアドレスカード(vCard)を	
アドレス帳に登録する.....	68

●メールの使いかた 70

はじめてEメールを使うときは.....	70
オンラインサインアップをする.....	70
Eメール/ライトメールについて.....	71
Eメールについて(ウィルコムEメール).....	71
Eメール機能の仕様.....	71
ライトメールについて.....	72
ライトメール機能の仕様.....	72
メールメニューについて.....	73
Eメールを作成して送信する.....	74
To(宛先)を入力する.....	75
Sub(件名)/本文を入力する.....	75
データを添付する.....	76
作成したEメールを保存/送信予約する.....	77
保存したEメールを編集して送信する.....	77
送信予約したEメールを送る.....	77
ライトメールを作成して送信する.....	78
作成したライトメールを保存する.....	79
保存したライトメールを編集して送信する.....	79
メールを受信/返信/転送する.....	79
受信したメールを読む.....	79
メールを自動的に受信して読む(パッとみる).....	79
受信メール一覧から受信したメールを読む.....	80

サーバーにEメールがあるかどうかを	
問い合わせる.....	81
添付ファイルを表示/再生/保存する.....	82
受信したEメールに返信する.....	82
受信したライトメールに返信する.....	83
受信したEメールを転送する.....	83
受信したライトメールを転送する.....	83
受信メール/送信メールの宛先一覧画面の	
メニューを使う.....	84
メール本文の電話番号/Eメールアドレス/	
URLを直接利用する.....	84
メールを管理する.....	85
受信ボックス/送信ボックス(フォルダ表示)	
画面のメニューを使う.....	86
受信メール/送信メール一覧画面の	
メニューを使う.....	86
受信メール/送信メール詳細画面のメニュー	
を使う.....	87
メールを削除する.....	88
メールを保護する.....	88
便利な設定を使う.....	89
アカウントごとの各種設定をする.....	90
接続先を設定する.....	92
ライトメールの設定をする.....	92
受信メールを自動的にフォルダに振り分ける.....	93
振り分け条件一覧画面のメニューを使う.....	93

●インターネットの使いかた 94

はじめてインターネットを使うときは.....	94
オンラインサインアップをする.....	94
インターネット機能について.....	94
セキュリティ通信について.....	94
端末情報の通知.....	95
Operaブラウザについて.....	95
表示モード.....	96
Operaブラウザの基本操作.....	97
Operaブラウザの起動と終了.....	97
Operaブラウザを起動し、CLUB AIR-EDGE	
にアクセスする.....	97
Operaブラウザを終了する.....	97
Operaブラウザでの主なキー操作について.....	98
Operaブラウザの表示モードを切り替える.....	99
ダウンロードのしかた.....	99
ブックマークについて.....	100
表示中のWebページをブックマークに登録する.....	100
ブックマークに登録したWebページに	
アクセスする(ブックマーク一覧).....	100
Webページ上の情報を利用する.....	101
Opera(WEB)メニューについて.....	102
Operaブラウザのメニューについて.....	102
URLを入力または入力履歴からアクセスする.....	103
Webページ表示中のメニューについて.....	104
Webページから保存する.....	105
保存ページから表示する.....	106
Webページから移動する.....	106
ブックマーク一覧について.....	108
ブックマーク一覧画面のメニューを使う.....	108
ブックマークを編集する.....	109
Operaブラウザの環境設定.....	110
Opera(WEB)メニューからの環境設定.....	110
Webページ表示中の環境設定.....	112
ダイヤルアップを設定する.....	114
ダイヤルアップを設定/編集する	
(ダイヤルアップ設定)(機能番号93).....	114

●カメラの使いかた 116

カメラ撮影の準備をする.....	116
撮影する.....	118
撮影する.....	118
ズーム機能を使う.....	119
明るさを調整する.....	119
連写撮影する.....	119
マクロ(接写)撮影する.....	120
セルフタイマーで撮影する.....	120
モニター画面のメニューを使う(フォト).....	120
プレビュー画面のメニューを使う(フォト).....	122
撮速メールを使って画像を送る.....	124
撮速メールの送信先を設定する.....	124
撮速メールを送信する.....	125

●データフォルダの使いかた 126

データフォルダについて	
(本体メモリ/miniSDカード).....	126
データフォルダの構成.....	126
保存できるデータの種類.....	127
データを再生する.....	128
再生中の操作について.....	128
データ再生中のメニューを使う.....	129
データを登録する.....	130
データフォルダのメニューを使う.....	131
データを削除する.....	132
miniSDカードのメニューを使う.....	132
データをminiSDカードへバックアップする.....	133
書き込み(アドレス帳、スケジュール、TODO、ブックマーク、送信メール、受信メール).....	133
読み込み(アドレス帳、スケジュール、TODO、ブックマーク、送信メール、受信メール).....	133
バックアップファイルを削除する.....	133
DPOFプリント設定.....	133
スタンダードプリントを設定する.....	134
miniSDカードをフォーマットする.....	134

●音/バイブレーションの設定 136

音声着信の音/バイブレーションを設定する(音声着信)(機能番号21).....	136
Eメール、ライトメールの受信音/バイブレーションを設定する(Eメール/ライトメール受信)(機能番号22/23).....	137
アラームの音量/バイブレーションを設定する(アラーム)(機能番号24).....	138
スケジュールアラームの音量/バイブレーションを設定する(スケジュールアラーム)(機能番号25).....	138
キーの操作音量を設定する(操作音)(機能番号26).....	139
データを再生するときの音量を設定する(データ再生音)(機能番号27).....	139
電源を入れたときの音を設定/解除する(ウェイクアップトーン)(機能番号28).....	139
圏外のとときの音を設定/解除する(圏外警告音)(機能番号29).....	139

●画面/照明の設定 140

メインディスプレイを設定する(メインディスプレイ)(機能番号31).....	140
--	-----

時計やカレンダーの表示方法を設定する(時計カレンダー表示)(機能番号312).....	141
サブディスプレイを設定する(サブディスプレイ)(機能番号32).....	142
電話を受けたときの名前の表示方法を設定する(名前表示)(機能番号33).....	142
充電中の画面照明を設定する(充電時LCD)(機能番号34).....	143
メインディスプレイの照明の明るさ/点灯時間を設定する(照明)(機能番号35).....	143
節電画面を設定する(節電画面)(機能番号36).....	144
表示する文字の大きさを設定する(文字サイズ)(機能番号37).....	144
画面の配色を設定する(配色設定)(機能番号38).....	144
撮影ライトを点灯させる(ライト点灯)(機能番号39).....	144

●スケジュールの使いかた 146

カレンダーを表示する.....	146
スケジュール/TODOの一覧を表示する.....	147
カレンダーのメニューを使う.....	148
表示色変更画面のメニューを使う.....	150
スケジュールを登録/編集/確認する.....	150
スケジュールの各項目を登録する.....	150
スケジュールの繰り返しを設定する.....	152
スケジュールアラームを設定する.....	152
スケジュールを確認する.....	153
スケジュールのメニューを使う.....	153
登録された電話番号/Eメールアドレス/URLを利用する.....	153
TODOを登録/編集/確認する.....	154
TODOの各項目を登録する.....	154
TODOを確認する.....	155
TODOのメニューを使う.....	155
スケジュールカード(vCalendar形式)について.....	156
スケジュール/TODOのデータをスケジュールカードに変換してコピーする.....	156
スケジュールカードをスケジュール/TODOに登録する.....	156

●セキュリティ機能の設定 158

ダイヤルロックを設定/解除する(ダイヤルロック)(機能番号41).....	158
着信拒否する電話番号を設定する(着信拒否)(機能番号42).....	158
各種機能の操作にロックをかける(操作ロック)(機能番号43).....	160
使用制限を設定/解除する.....	160
登録した電話番号以外に電話をかけられなくする(発信先一覧)(機能番号432).....	161
操作ロック中の一時解除について.....	161
シークレットモードを設定する(シークレットモード)(機能番号44).....	162
暗証番号を変更する(暗証番号変更)(機能番号45).....	162
登録内容や各機能の設定をリセットする(本体リセット)(機能番号46).....	163

遠隔操作でWX310Kを他の人が使えないようにする(リモートロック)(機能番号47).....	164
リモートロックを設定する.....	164
電話をかけてリモートロックを設定する.....	165
ライトメールを送信してリモートロックを設定する.....	165
リモートロックを解除する.....	166
電話をかけてリモートロックを解除する.....	166
ライトメールを送信してリモートロックを解除する.....	166
リモートロックの設定/解除を許可する電話番号を登録する(着信番号一覧/ライトメール番号一覧)(機能番号472/474).....	167

●その他の便利な機能 168

アラーム機能を使う(アラーム)(機能番号52).....	168
アラーム設定を登録/編集する.....	168
アラーム設定を削除する.....	170
アラームを止める.....	170
メモ帳を登録する.....	170
メモ帳を登録する.....	170
メモ帳のメニューを使う.....	171
詳細を表示する.....	171
ダイヤルメモを使う(ダイヤルメモ).....	171
ダイヤルメモを登録する.....	171
ダイヤルメモを呼び出して使う.....	172
待受中に音声録音する(Myボイスメモ登録).....	172
バケット通信中の電話の着信を設定する(通信中着信)(機能番号17).....	173
通信中のメール受信を設定する(通信中メール受信)(機能番号18).....	173
プロフィールを登録/確認する(プロフィール)(機能番号0).....	174
プロフィールの詳細を登録する.....	174
登録したプロフィールの詳細を確認する.....	175
プロフィール詳細表示画面のメニューを使う.....	175
通話時間を表示する.....	176
通話時間の合計を表示する(累積通話時間)(機能番号11).....	176
通話中に通話時間を表示させる(通話時間目安表示)(機能番号12).....	176
エニーキーアンサーを設定/解除する(エニーキーアンサー)(機能番号14).....	176
WX310Kをオープンしたときの動作を設定する(着信時フォルダオープン)(機能番号16).....	177
上下キーに機能を設定する(上下キー割り当て)(機能番号95).....	177
センターキーの長押しに機能を設定する(センターキー長押し割り当て)(機能番号96).....	177
電卓を使う(電卓).....	178
パソコンとデータのやり取りをする(マストレージ).....	178
マストレージ接続時に表示されるフォルダとデータの種類.....	179
平型イヤホンマイクを接続する(イヤホン自動応答)(機能番号19).....	179
平型イヤホンマイクの応答時間を設定する(イヤホン自動応答秒数)(機能番号10).....	180
現在の位置情報を通知する.....	180

L機能を設定する(L設定)(機能番号91).....	180
通知許可番号と通知許可パスワードを登録する(機能番号913).....	181
通知許可番号と通知許可パスワードを編集/削除する.....	181
位置情報を通知する.....	181
相手から位置情報送付の要求があったとき.....	182
所在位置を登録する.....	182
所在位置のみ登録する.....	182
所在位置とステータスコードを登録する.....	182
国際ローミングを利用する(お申し込み必要)(国際ローミング)(機能番号94).....	183
ローミングモードに切り替える(国・地域/事業者選択)(機能番号941).....	183
ローミングモードで電話をかける.....	183
ローミングモードで電話を受ける.....	183
国際プリフィックス番号を簡単に付ける.....	184
ローミング情報を登録する(ローミング情報登録)(機能番号942).....	184
ローミング情報を削除する.....	185
各機能の情報を削除する.....	185
Bluetooth™の使いかた.....	186
Bluetooth™対応機器とWX310Kの接続方法について.....	186
Bluetooth™のメニューを使う.....	187
ヘッドセット/ハンズフリー機器接続時の着信音鳴動を設定する.....	189
機器一覧のメニューを使う.....	189
ヘッドセット/ハンズフリー機器での通話について.....	190

●データ通信の使いかた 192

データ通信の準備をする.....	192
データ通信について.....	192
64kPIAFSの通信方式を設定する(データ通信方式)(機能番号92).....	194
WX310Kとパソコンを接続する.....	194
USBケーブルで接続する.....	194
USBモードを切り替える(USBモード)(機能番号72).....	195
Bluetooth™で接続する.....	195
発信する.....	196
着信する.....	197

●ウィルコム各種サービス 198

留守番電話サービスについて(お申し込み必要).....	198
メッセージを確認する.....	198
メッセージを聞く.....	198
留守番電話サービスの設定を変更する.....	199
着信転送サービスについて(お申し込み不要).....	199
料金分計サービスについて(お申し込み必要).....	200
料金分計で電話をかける.....	200
国際ローミングサービスについて(お申し込み必要).....	200

●ソフトウェアの更新 202

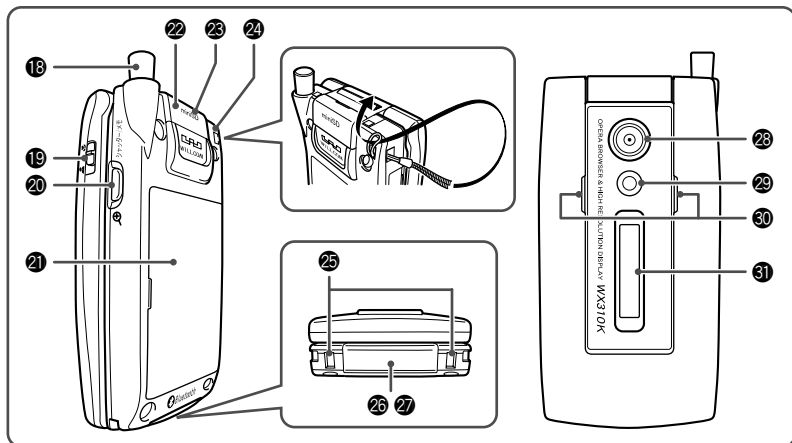
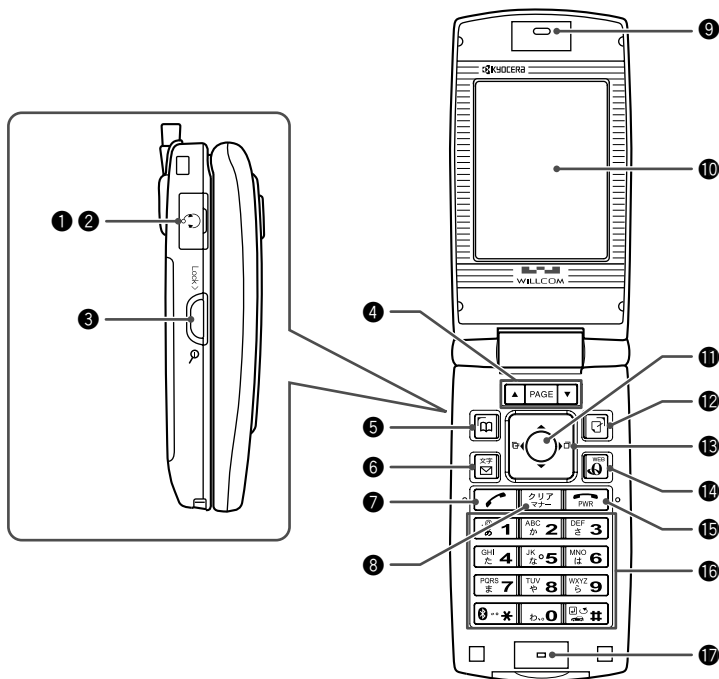
最新のソフトウェアをダウンロードして使う(ソフトウェア更新)(機能番号971).....	202
接続先URLを変更する(機能番号972).....	202

●アプリケーションの追加	204
アプリケーションを追加する	204
ライセンスキーを購入する	204
主な操作の流れ	204
Flashを再生する	205
Webページの一部で再生する (インライン再生)	205
Flashのみを再生する (インタラクティブ再生)	205
インタラクティブ再生時の主なキー操作に ついて	206
インタラクティブ再生時のメニューを使う	206
ムービーを使う	207
ムービーを起動する	207
録画する	208
モニター画面のメニューを使う (ムービー)	209
プレビュー画面のメニューを使う (ムービー)	210
録画した動画をプレビュー画面で再生する	210
MP4プレイヤーを使って動画を再生する	211
QRコードリーダーを使う	211
QRコードリーダーを起動する	211
カメラのモニター画面から起動する	212
アクセサリから起動する	212
QRコード解析画面のメニューを使う	212
Picstel Viewerを使う	214
Picstel Viewerでドキュメントを開く	214
ドキュメント表示中のメニューを使う	215
●付録	216
主な仕様	216
バッテリーの交換	216
故障とお考えになる前に	217
アフターサービスについて	228
保証書について	228
修理を依頼されるときは	228
補修用性能部品について	228
アフターサービスについて	228
漢字コード一覧	229
機能一覧	242
各機能の選択項目一覧	247
索引	250
お問い合わせ先	256

ご使用になる前に

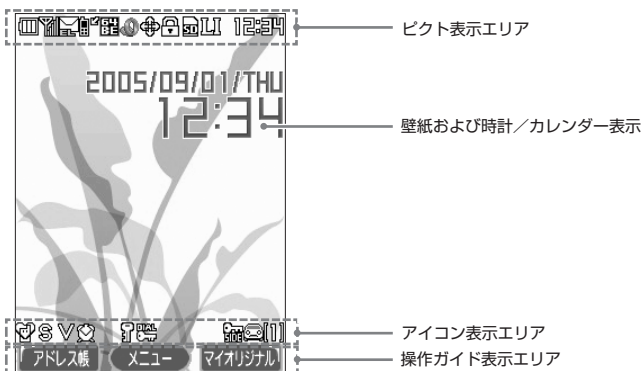
● 各部の名称と機能

● 各部の名称と機能



- ① 平型イヤホンマイク端子カバー
- ② 平型イヤホンマイク端子部
平型イヤホンマイク（市販品）を使用するとき、この端子に接続します。
- ③ LOCKキー []
サブディスプレイの表示を切り替えるときに押します。また、クローズ時のサイドキーの操作を無効にするときに押します。
- ④ ページアップキー ▲ (PAGE) / ページダウンキー ▼ (PAGE)
ページをめくるときに押します。待受中は以下のように使用します。
・ ▲は受信メール一覧を表示
・ ▼は送信メール一覧を表示
- ⑤ アドレス帳キー []
アドレス帳を利用するときや、メインディスプレイ左下に表示している機能进行操作するときを押します。
- ⑥ メールキー []
Eメールやライトメールを利用するときを押します。
- ⑦ 発信・通話キー []
電話をかけるときや受けるときに押します。
- ⑧ クリア/マナーキー []
入力した文字を訂正するときや1つ前の操作に戻るときに押します。また、マナートーク/マナーモードを設定するときを押します。
- ⑨ イヤースピーカー（受話口）
通話中に相手の声が聞こえます。
- ⑩ メインディスプレイ
〔「メインディスプレイの見かた」18ページ〕
- ⑪ センターキー []
各機能の登録や設定をするとき、また選択した項目を確定するときを押します。また、メインディスプレイ中央下に表示している機能进行操作するときを押します。
- ⑫ マイオリジナルキー []
マイオリジナル一覧を表示するときや、メインディスプレイ右下に表示している機能进行操作するときを押します。
- ⑬ フロントジョグ [] [] [] []
画面上のカーソルを移動するときを押します。待受中は以下のように使用します。
・ []は着信履歴を表示
・ []は発信履歴を表示
- ⑭ Operaキー []
Opera（インターネット）を利用するときを押します。
- ⑮ 電源・終話キー []
電話を切るときに押します。また電源を入れるときや、機能の設定を終了するときを押します。
- ⑯ ダイヤルキー
電話番号や文字を入力するときに押します。
- ⑰ マイク（送話口）
通話中に自分の声を相手に伝えます。
- ⑱ アンテナ
通話時やEメール、ライトメール、インターネットなどを使用するとき、止まるまで伸ばしてください。
- ⑲ マクロ撮影切替スイッチ []
マクロ撮影するときに使用します。
- ⑳ シャッター/メモキー []
カメラのシャッターとして使用します。また、サブディスプレイの表示を切り替えるときや、録音再生メニューを表示するときに押します。
- ㉑ バッテリーカバー
- ㉒ miniSDカードスロットカバー
- ㉓ miniSDカードスロット部
miniSDカード（市販品）を挿入します。
- ㉔ ハンドストラップ取付部
- ㉕ 充電端子
充電器を使って充電するとき、ここが接続部になります。
- ㉖ USB端子カバー
- ㉗ USB端子
USBケーブルでパソコンなどに接続します。
- ㉘ カメラ（レンズ部）
静止画の撮影をします。
- ㉙ 撮影ライト
暗い場所などで静止画を撮影するときに使用します。
- ㉚ スピーカー
電話がかかってきたとき、着信音が鳴ります。また、音楽データもスピーカーから再生されます。
- ㉛ サブディスプレイ
〔「サブディスプレイの見かた」20ページ〕

● メインディスプレイの見かた



● ご注意













- 本書内の画面表記では、ピクト表示エリアを省略している場合があります。
- 本書内の画面表記は実際の画面と書体や形状、明るさが異なる場合があります。

		十分
(バッテリー残量、充電中は点滅)		中
		少 (要充電)
		なし (要充電)
* (電波状態)		↑ 強
		微弱
		圏外
		新着のEメールあり
		新着のライトメールあり
		新着のEメール、ライトメールあり
		未読のEメールあり
		未読のライトメールあり
		未読のEメール、ライトメールあり
		Eメール受信失敗

	電話に出られなかった着信あり	
	通話中	
 (通信中表示)		64kPIAFS (ベストエフォート型)
		64kPIAFS (ギャランティ型)
		32kPIAFS
		パケット方式
		フレックスチェンジ方式
	miniSDカード挿入中	
	miniSDカードアクセス中に点滅	
	Opera ブラウザ起動中	
	データ送受信中に点滅	
	フルスクリーンモード	
	スモールスクリーンモード	
	ゲートモード	
	SSL通信中	
	自動位置情報送出設定中	
	ローミングモード設定中	

* : 分計発信時には「」が水色に表示されます。

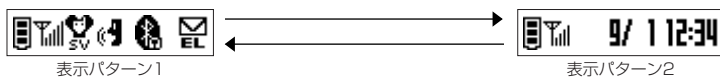
	時刻表示
	標準マナーモード
	オリジナル1マナーモード
	オリジナル2マナーモード
	サイレントマナーモード
	音声着信の音量「OFF」に設定中
	バイブレーション設定中
	アラーム設定中
	シークレットモード設定中
	ダイヤルロック設定中
	伝言メモ設定中
	音声メモあり

	安全運転モード設定中	
		音声／伝言メモ1件あり
		音声／伝言メモ2件あり
		音声／伝言メモ3件あり
	サイドキー操作無効設定中	
Bluetooth™		ヘッドセット接続待ち
		ハンズフリー接続待ち
		ダイヤルアップ接続待ち
		ヘッドセット接続中
		ハンズフリー接続中
		ダイヤルアップ接続中

● サブディスプレイの見かた

WX310Kがクローズ状態のときに、サブディスプレイから各種情報を確認することができます。また、サブディスプレイの照明が点灯しているときにサイドキーを押すと、表示内容が切り替わります。





























サブディスプレイ点灯時に  (シャッター/メモ) または  (Lock) を押す





















サブディスプレイ点灯時に  (シャッター/メモ) または  (Lock) を押す



● 表示パターン2を表示していても、サイドキー操作無効の設定をしたときや、新着メール、不在着信があった場合は表示パターン1に切り替わります。



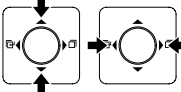



		十分
(バッテリー残量、充電中は点滅)		中
		少 (要充電)
		なし (要充電)
		強
(電波状態)		↑ ↓
		
		
		
		圏外
		標準マナーモード
		オリジナル1 マナーモード
		オリジナル2 マナーモード
		サイレントマナーモード
	Opera ブラウザ起動中	
	通話中	
	音声着信の音量「OFF」に設定中	
	バイブレータ設定中	
 (通信中表示)		64kPIAFS (ベストエフォート型)
		64kPIAFS (ギャランティ型)
		32kPIAFS
		バケット方式
		フレックスチェンジ方式

	伝言メモ設定中	
	安全運転モード設定中	
	サイドキー操作無効設定中	
Bluetooth™		ヘッドセット接続待ち
		ハンズフリー接続待ち
		ダイヤルアップ接続待ち
		ヘッドセット接続中
		ハンズフリー接続中
		ダイヤルアップ接続中
12:34	時刻表示	
		新着のEメールあり
		新着のライトメールあり
		新着のEメール、ライトメールあり
		未読のEメールあり
		未読のライトメールあり
		未読のEメール、ライトメールあり
		Eメール受信失敗
	電話に出られなかった着信あり	

● キー操作の基本

ここでは、各キーの使いかたと、本書内でのキー表記について説明します。





カーソルを動かして選択／確定する（カーソルキー／センターキー）

本書内の表記	キーの操作	説明
 または 		項目を選択したり、文字入力中にカーソルを動かしたりするときに使用します。  を押し続けると画面をスクロールすることができます。
		選択されている項目の確定や、文字入力中の変換候補の確定に使用します。また、操作ガイドエリアの中央に表示されている機能を実行するときにも使用します（「ソフトキーの操作について」22ページ）。

■各種メニュー画面で項目を選択して決定する場合





数字キーを使って項目を選択する（ダイヤルキー）


メニュー項目の左側に番号やアイコン（、、）が表示されているときは、（カーソルを合わせで選択する以外に）対応するダイヤルキーを押して選択／決定することができます。

例：項目4を選択する場合




一つ前の画面に戻る／操作を中止する（クリアキー／電源・終話キー）

途中操作がわからなくなったりときや間違えたときは、【戻る】（操作ガイド表示エリアに【戻る】が表示されている場合）またはを押して前の画面に戻ることができます。

また、を押すと操作を中止して待受画面に戻ることができます。Opera起動中の場合はインターネットページの呼出元に戻ることができます。



ページをめくる（ページアップキー／ページダウンキー）




すべての項目が1画面で表示しきれない場合に、 (PAGE) を使って画面単位で前／次の画面に切り替える（ページをめくる）ことができます。

すべての項目が1画面に表示されているかどうかは、スクロールバーの状態を確認することができます。



ソフトキーの操作について

メインディスプレイの操作ガイド表示エリアに表示されている機能を表示／実行するときは、表示位置に対応するキーを押します。

本書での表記	説明	
	操作ガイド表示エリアの左側に表示された機能を実行します（右図では【戻る】で1つ前の画面に戻ります）。	
	操作ガイド表示エリアの中央に表示された機能を表示します（右図では【選択】で項目を確定します）。	
	操作ガイド表示エリアの右側に表示された機能を実行します（右図では【メニュー】でメニューを表示します）。	

●ご使用前の準備

バッテリーの充電について

お買い上げ時、バッテリーは十分に充電されていません。初めてお使いになるときや長時間で使用にならなかったときは、必ず専用の充電器で充電してからご使用ください。

※バッテリーの取り付けかたについては、「バッテリーの交換」(216ページ)をご参照ください。

■充電時間とご利用可能時間

充電時間	約4時間	空のバッテリーをWX310Kの電源を切った状態で充電器を利用して充電したとき
連続待受時間	約500時間	電源を入れたまま、キー操作や通話を行わないで待受状態を続けられる時間
連続通話時間	約300分	通話を続けられる時間

●ご注意

- 「連続待受時間」とは、十分に充電された新品のバッテリーを装着し、通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態で算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所（ビル内、カバンの中など）や圏外表示の状態では、ご利用時間が半分以下になることがあります。
- 実際のご利用可能時間は、発信、着信の回数によって異なり、実際に使用された通話時間や移動距離が長い場合には短くなります。また、圏外や電波が不安定な場所（ビル内、カバンの中、サービスエリア内外の移動など）での待受、移動距離、バッテリーの充電状態、機能の設定状態、気温などの使用環境により通話/待受時間は半分以下になる場合があります。
- WX310Kをオープン状態およびディスプレイの照明が点灯している状態でのご利用（アドレス帳操作/メール操作/Web操作/カメラ操作など）が多い場合、連続待受時間、連続通話時間が短くなります。
- キー操作を長時間繰り返し行くと、バッテリーの消耗が早くなり、連続待受時間、連続通話時間が短くなります。
- バッテリーを空の状態では放置しないでください。バッテリーが空の状態では放置されると、充電できなくなる場合があります。長期間使用しないときは、ときどき充電をして空の状態を避けてください。
- バッテリーには寿命があります。充電をくり返すうちに利用可能時間は徐々に短くなります。最初に比べて半分程度になってきたら交換時期です。新しいバッテリーをお買い求めください。なお、バッテリーの寿命は使用状態などにより異なります。
- 不要になったバッテリーは一般のゴミと一緒に捨てないでください。



Li-ion

環境保護のため、寿命がきたバッテリーは一般のゴミと一緒に捨てずにウィルコムサービスセンター窓口、またはリサイクル協力店などにお持ちください。

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：

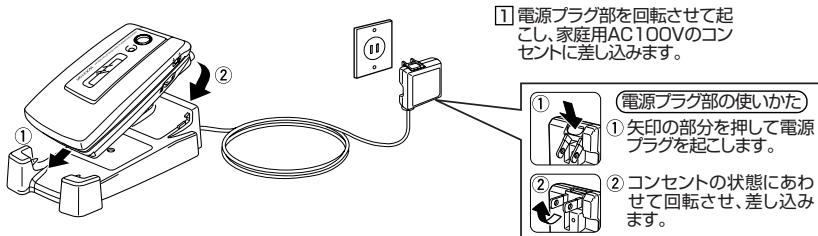
社団法人電池工業会

TEL：03-3434-0261

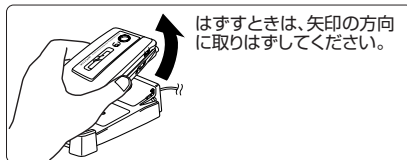
ホームページ：<http://www.baj.or.jp>

充電する

お買い上げ時には、バッテリーは十分に充電されていません。初めてご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、必ず専用の充電器で充電してからご使用ください。



②図のようにWX310Kを充電器にカチッと音がするまで差し込みます。充電が開始されます。



■充電中のディスプレイ表示

画面	充電中	充電完了
メインディスプレイ	の点滅	の点灯
サブディスプレイ	の点滅 照明赤色点灯	の点灯 照明消灯

⚡️ ご注意

- 電源OFF時は、「」(メインディスプレイ)と「」(サブディスプレイ)は表示されません。
- 充電の際、充電完了でないときに、サブディスプレイの照明が消灯したときは、WX310Kをセットし直してください。それでも消灯したままの場合は、電源プラグを抜いてお買い上げいただいた販売店、ウィルコムサービスセンター、京セラテクニカルサービスセンターにご連絡ください。
- 充電が完了した後、WX310Kを充電器から取りはずし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- WX310Kの充電端子、充電器の充電端子は、ときどき乾いた綿棒で清掃してください。汚れていると接触不良の原因となります(このとき充電端子を変形させないでください)。
- 金属製ストラップを使用している場合は、ストラップの金属部分が充電器の充電端子部に触れないよう注意してください。
- バッテリーおよびバッテリーカバーが確実に取り付けられているかご確認ください(「バッテリーの交換」216ページ)。

📺 お知らせ




- 充電中のメインディスプレイの照明は、「充電時LCD」の設定によって常時ONにすることもできます(「充電中の画面照明を設定する」143ページ)。ただし、USBケーブルで充電する場合、メインディスプレイの照明はONになりません。
- 充電器で充電する場合のサブディスプレイの照明は、「充電時LCD」の設定にかかわらず常時「ON」になります。
- バッテリーの充電状態により赤色照明が点灯するまで数分時間がかかる場合があります。

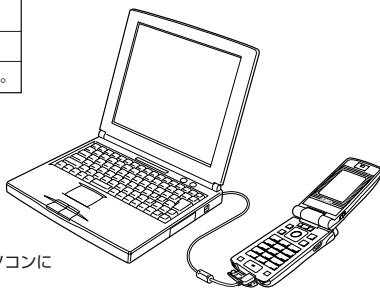
USBケーブルでパソコンと接続中に、充電することができます。

お買い上げ時：
「急速」

待受画面で     

以下の項目から選択します。



 OFF	USB充電を行いません。
 通常	USB充電を行います。
 急速	USB充電を、「通常」よりも短時間でを行います。



 **ご注意**

- USBケーブルでWX310Kを充電するときは、直接パソコンに接続してください。

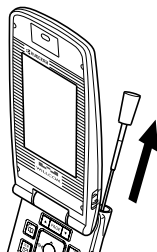
 **お知らせ**

- 同梱のUSBケーブルを接続すると、 「急速」で充電をした場合、充電時間は約5時間、 「通常」で充電した場合は約25時間です。ただし、接続するパソコンによって異なります。
- 同梱品以外のUSBケーブルを使用される場合は、USB1.1以上の認定品をご使用ください。
- USB充電は補助的な充電であり、充電器で充電した場合と同程度の充電はできません。

● アンテナの取り扱いについて

アンテナは収納したままでもご使用いただけますが、電波の弱い場所でご使用の場合、電話が通じなくなったり、通話が途切れたり、電話が切れてしまったりすることがあります。このようなときはアンテナを伸ばしてご使用ください。



- アンテナを伸ばすとき
アンテナの先端部を持ち、止まるまで完全に伸ばしてください。
- アンテナを収納するとき
アンテナの根もとあたりを持ち、しっかりと収納してください。



 **ご注意**

- アンテナの先端を持って無理に押し込むと、アンテナが曲がったり、折れたりするおそれがあります。
- アンテナが完全に伸びていないと、使用中にアンテナが動き、感度が悪くなります。

● 電源をON/OFFにする

電源をONにする	 を長く（2秒以上）押す 電源がONになったことをお知らせする「ウェイクアップトーン」（139ページ）が鳴ります。電源ONのアニメーションが表示された後、待受画面が表示されます。
電源をOFFにする	 を長く（1秒以上）押す 電源OFFのアニメーションが表示された後、電源が切れます。

● 時計を設定する（日時設定）

機能番号51

待受画面などに表示される日付と時刻を設定します。アラームの設定や、着信履歴、発信履歴、ライトメールの受信日時、Eメール/ライトメールの送信日時、スケジュール（スケジュール、TODO、カレンダー）などは、ここで設定した日付に従って動作または表示します。

お買い上げ時：
「2005年1月1日00：00」
（停止した状態）

待受画面で  ▶  ▶  ▶ 西暦（4桁）、月（2桁）、日（2桁）、時刻（24時制）を入力し、

 【確定】

 ● ご注意

- 以下のような場合、「日時設定」がお買い上げ時の設定に戻ることがあります。再度設定を行ってください。
 - ・長時間お使いにならなかった場合
 - ・バッテリーをはずしていた場合
 - ・バッテリー残量が完全になくなってしまった場合
- 日時設定を行わないと、アラーム、スケジュールの機能を使用することができません。

 お知らせ

- 入力できる日付は、2005年1月1日～2090年12月31日までです。

